

年間第17主日の説教

金 大烈 神父 2009年7月26日(日)

《私の“サイン”に気付いていますか》

お早うございます。

もう暑くなりましたので、説教は止めた方がいいでしょうか？(笑い)

今日も面白い話で皆様と分かち合いたいと思います。60歳を過ぎているある司祭が、街へ散歩をしに出かけて行きました。色々な事を見ながらその道を歩いていると、騒ぎが起こっている声が聞こえて来ました。何だろうと思い覗いてみると、何の理由かは解りませんが、一人の若者が木に登っていて、その下には警察や沢山の人が、降りよう説得をしているところでした。その司祭は、どうしてその青年が木の上に登っているのか、気になってもっと近づいてみました。その木はとても高く、もしそこから落ちると大変な事になると思いましたので、司祭は自分でも気付かないうちに十字を切っていました。十字を切った途端、木の上にいた青年は自ら降りて来ました。

その姿を見た警察の人は「私達がどんなに説得しても降りなかったのに、何故降りたのか」と、責めるような口調で青年に聞きました。すると、その青年は「上から下を見下ろしていたら、あるおじいさんが私にサインを送りました。『上から降りないと木を切るよ』と・・・」

(注：十字を切る動作を思い描いてください) “上から降りないと”(頭から胸へ) = 父(頭)と子(胸)

と、“木を切るよ”(左肩から右肩へ) = 聖霊の御名によって。

そのサインが恐ろしくて降りてきたそうです。

この様な面白い話ですが、私達がおくる毎日の生活の中で、色々なサインがあります。“サイン”は日本語では“しるし”でしょうか。野球の場合にキャッチャーがピッチャーに送るサイン、アイドルがするサイン、自分を現す何かの“しるし”を“サイン”と言います。毎日の生活の中には色々なサインがあります。その同じサインでも、見る人によって受け取り方は全く違います。ある人は散歩しながら目に入った雑草を見て神様を賛美します。命の力に賛美します。ある人は、何でこんな所に草が出ているのかと踏んでしまいます。また、ある人は自然に虫を殺す事が出来るかもしれません。しかしある人はその虫にある命を思い、迷ってしまう心を見せる人もいます。それぞれの状況によって、各自の人柄によって、“サイン”の見取り方が違います。

神様からの“サイン”も、神様からの“しるし”も沢山あると思います。“空気を読む”、“空気を読めない”という表現があるのですが、これは、日本語だけにある素晴らしい言い方です。雰囲気とか状況の把握が出来ているかどうかを現す表現だと思います。

しかし、皆様、私が言いたいのは“空気”は読めなくても、神様からの“いぶき”は是非読んで欲しいということです。私達に一番大切な事は、その“サイン”にどの様に私達は耳を傾け、「イエス様が私に何を言っているのか」「この出会いは、私にとって何の意味があるのか」。そのサインを悟るように、解るように頑張る姿だと思います。

今日、5千人を食べさせたイエス様のお話(ヨハネ6・1-15)が読まれました。実際にイエス様が生きておられるうちに、弟子達に見せた色々なサインは数えられない程ありました。不思議だと思われる出来事、人間的には不可能だと思われる事も沢山ありました。しかし、その神秘を理解して、その意味を把握して、その道に従って行った人は少なかったのです。弟子達でさえ、そのイエス様の御心を見取る事は出来ませんでした。

結局、あの方は十字架の死を見せながら、そして復活の神秘を通して、私達に今まで色々なサインを送っています。例えば、お隣の誰かが亡くなったとしましょう。その死を無駄にする必要はありません。その死は、私達にとって大きなサインになります。もしお隣のお母さんが子供を産んだとしま

しょう。それも、ものすごく大きいサインになります。私がどうすればよいかを示しているサインです。同じサインでも、ただ過ぎてしまうのか、自分にとって何の意味があるかを解る為に祈る姿を見せて下さい。

皆様は、ラザロの話をお憶えていらっしゃると思います。ある金持ちが死んで地獄に墮ちました。そしてアブラハムに、アブラハムに抱かれているラザロを自分の弟達の元に行かせ、自分の様な悪い生き方をしたら地獄に墮ちることを伝えて欲しいと頼みました。しかしアブラハムは「あなたの前に沢山の予言者や沢山の人がいて、色々なメッセージを送ったが、あなたはそれを拒んだ。だからラザロが言っても、弟達は聞かないだろう」と話しました。その様に“しるし”があったかどうかは問題ではありません。“しるし”はいつもあります。何かを示そうとする“しるし”はいつもあります。しかし、それを見ようとする心があるか、見てもそれをわきまえる知恵があるかどうかによって、全然違うものになる事を意識しましょう。

皆様、あらゆるものは神様の“サイン”だと思います。その“サイン”を読みとろうとする心を願います。

ありがとうございました。